

## 中国四国農政局長表彰 推薦組織（広島県）

### 【多面的機能支払】

ちよだこういききょうていうんえいいんかい      きたひろしまちょう  
「千代田広域協定運営委員会」（北広島町）

（1）認定農用地面積：409ha

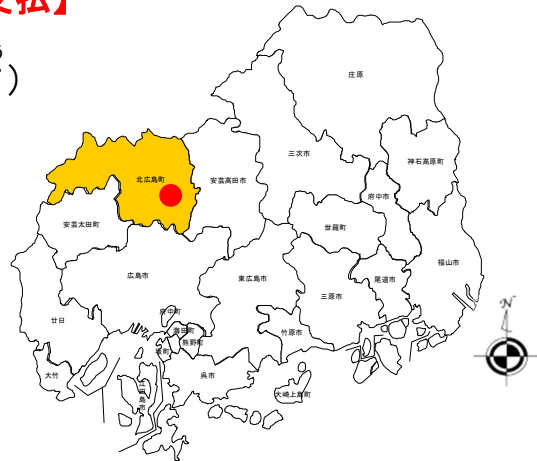
（田：406.0ha、畑：3.0ha）

（2）組織構成：

32集落（農家487戸、非農家123戸）

開水路：167 km、農道65.5 km

ため池 35箇所



### 【組織の概要】

本組織は、北広島町の中心に位置する中間農業地域です。神楽やユネスコ無形文化遺産に認定された壬生の花田植など農業にまつわる伝統行事が有名で、国営農地再編事業等が実施された農地では、水稻、麦、黒大豆、トマト、キャベツなどの栽培が盛んです。

平成19年度の活動開始後、令和3年度に県の支援により旧千代田町全域での広域化に取り組み、現在は14組織が参加しており、事務局を中心に、事務支援ソフト導入による活動の効率化や長寿命化工事の調整及び支援など組織間の連携強化を図っています。

### 【主な取組内容】

- 水路・農道の草刈りや町内会と連携した一斉清掃、鳥獣防護柵周辺の草刈り・補修などの活動に取り組み、ヒガンバナなどの植栽活動や毎年恒例の生き物調査では、廃校により離ればなれになった子どもたちの交流の場になるなど、住民間で言葉を交わすきっかけが生まれ、地域のつながりを維持する活動となっています。
- 広域化をきっかけに、7名の事務局体制（代表、情報システム担当3名、長寿命化工事担当3名）として、定期的な打合せにより情報共有を密にして、誰かが倒れても他の人がカバーできる安定した組織づくりを目標に掲げています。
- イノシシやシカなどの鳥獣害対策では、ワイヤーメッシュ柵を2～3重に設置するなど工夫をしていますが、従来の対策では手に負えない状況になっており、鳥獣害対策を支援してくれる広島県鳥獣対策等地域支援機構「tegos」（広島弁で「手伝う」という意味）に相談するとともに、勉強会に参加するなど対策の強化に努めています。



花の植栽活動



生き物調査とハンドブック



鳥獣防護柵の補修作業